

大成建設、作業所業務の協調作業（コラボレーション）を ASP で展開

すでに電子取引を行っている 3,000 社とスタート、1 年後に建築土木全作業所 10,000 社との連携を目指す。

名称：作業所 Net

1. 導入の背景

建設投資額の減少とそれに伴う競争激化や品質保証の厳格化が進んでいる中、大成建設株式会社（本社：東京都新宿区 社長：葉山 莞児）は、全社的な業務の見直しと業務改善を進めている。

また、建設業界では CALS / EC 等に代表される IT 化が浸透し始め、ネット使った電子調達と共に、電子納品に対応した施工管理のコラボレーションが本格化し始めている。このような背景から、このたび「そのポータルに行けば建設現場の業務ができる」という生産現場の総合的な情報環境基盤を整備し運用を開始した。

2. 導入の経緯

本システムはローコストなシステム調達・安定稼働を目的として、自社開発・自社運営を見直し、本格的な ASP 利用とした。当社の業務改善とシステム化の目的に最も近い仕組みを提供している ASP を大成建設の作業所管理ノウハウによってカスタマイズし、「作業所 Net」を上げた。

3. 展開計画

作業所展開は今年度中に建築を中心に 360 ヶ所、来年度は建築土木の全作業所に展開する予定。

大成建設は建築主体の調達購買システムを再構築し、新たに土木建築共通の「総合調達システム」（CI ネット対応済）を開発し 6 月から運用を開始した。

「作業所 Net」は「総合調達システム」のポータルとしての機能も持っているため、現在、調達購買システムに加盟している専門工事業者 3,000 社をユーザーとして 6 月より一斉展開し、来年度は 10,000 社まで増やす予定。

4. 目的と手段

情報環境基盤整備として作業所業務ポータル構築

個々の作業所毎に関係者がコラボレーションを計りながら業務ができるような場を提供するために、新たに作業所業務ポータルと作業所業務に適した統一的な作業所情報化基盤の仕組み（ポータル・認証方法・専用メニュー・フォルダー）を構築し、作業所の関係者（施主・設計事務所・専門工事業者・JV 他社員等）がリアルタイムに情報を共有することにより少人数でスピーディーに仕事の処理ができる。

作業所業務用プラットフォームとして作業所標準メニューを構築

安全管理・品質管理・工程管理等の作業所業務を処理するプラットフォームを提供するために、大成標準の作業所業務メニューを構築した。建築も土木もそれぞれメニュー構成は違うが全社的に統一された環境で仕事ができる仕組みを作り、更に作業所単位でアクセスコントロールできるようにした。効果として重複作業の削減・問合せ確認の削減・人の移動の削減等により、より効率的に業務に対応できる体制を確立する。

5. 内容

作業所を中心とした社内・社外関係者（施主・設計事務所・専門工業者・JV 他社員等）を含む情報活用の業務ポータル（玄関）をエクストラネット上に構築した。

仕事に直結した業務メニューの構築

作業所開設時から全国共通の仕様で工事関係者が役割に応じて利用できる環境を整備。

- ・ 利用者毎の業務メニュー提供。
- ・ 利用者毎のトップ画面提供。

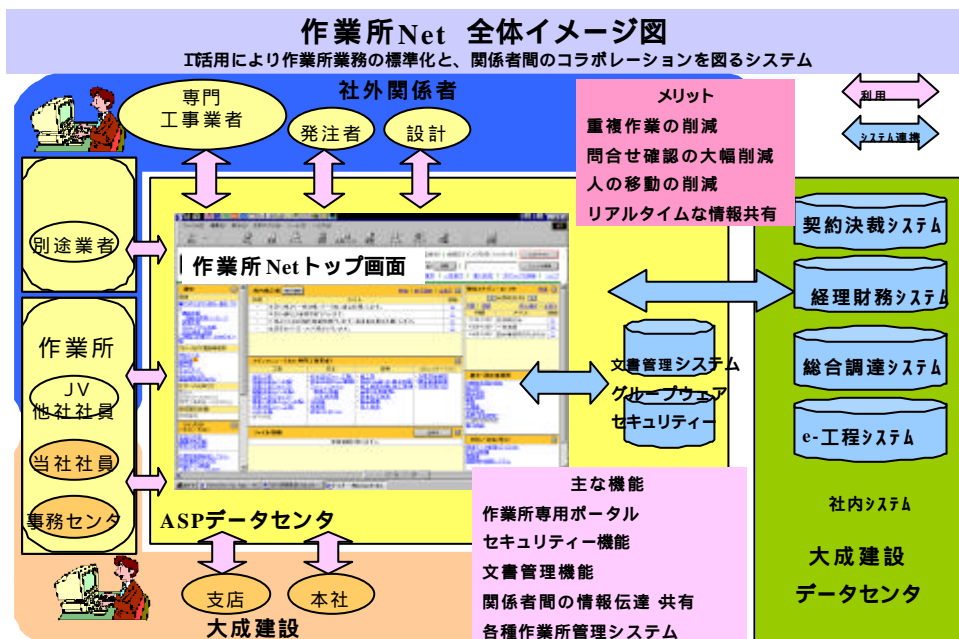
Web サイト・インターネットを利用した環境

- ・ ASP 上に作業所毎のポータルを開設。

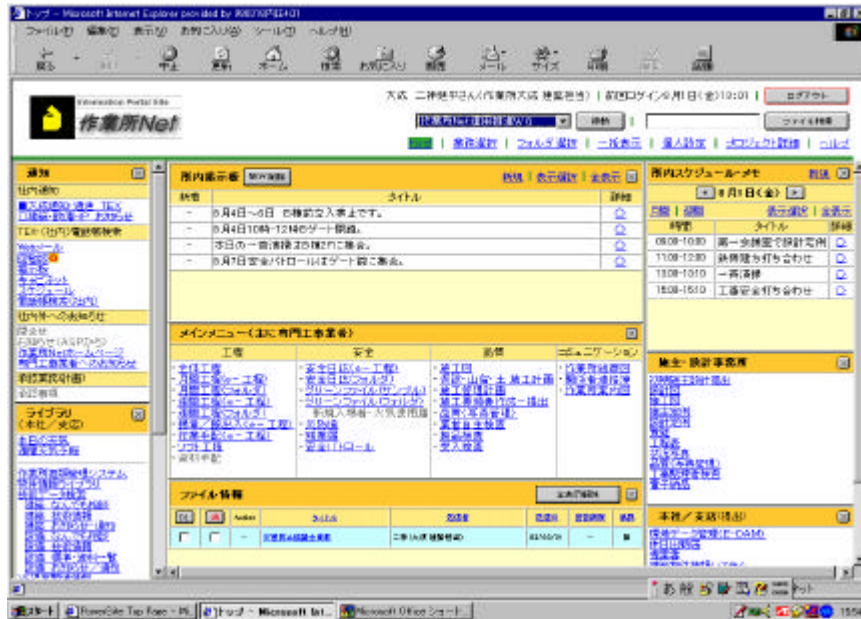
作業所情報共有の為にプラットフォームの構築

- ・ 作業所毎のアクセスコントロール。
- ・ 社内外の業務システムとの連携とシングルサインオンの実現。
- ・ 作業所毎の文書管理（文書・図面・写真）機能。
- ・ 作業所毎の掲示板・スケジュール機能。
- ・ 作業所毎の工程表による手配機能。

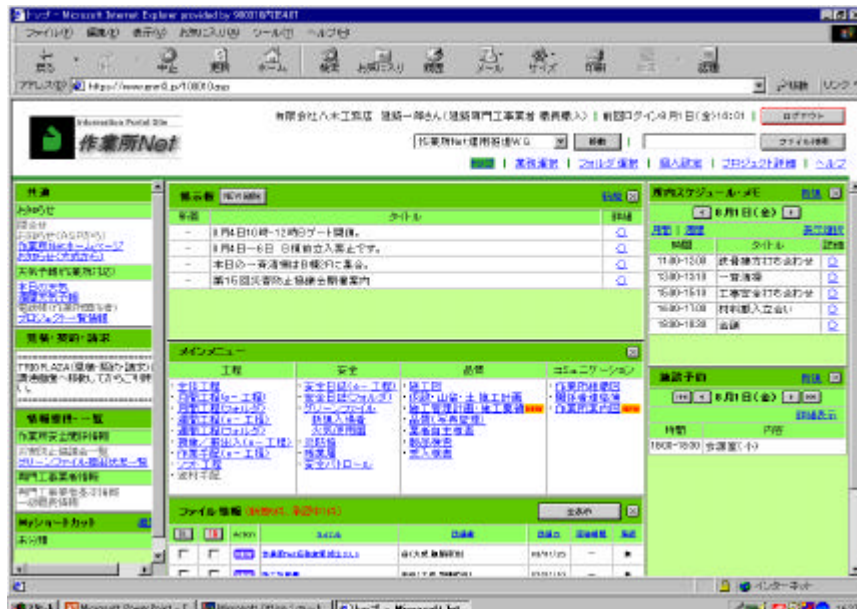
「作業所 Net」全体イメージ



大成建設作業所担当者用画面



専門工事業者用画面



【大成建設株式会社】

- ・ 本社：東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル
- ・ 代表者：葉山莞児
- ・ 設立：1917年 12月
- ・ 資本金：94,348 百万円（2003年 3月 31日現在）
- ・ 売上高：連結 1,644,638 百万円（2003年度）
- ・ 従業員数：10,048 名（2003年 3月 31日現在）
- ・ <http://www.taisei.co.jp>